

室内試験関係日本工業規格（JIS）の改正への意見に対する検討結果の報告

地盤工学会基準部

1. まえがき

室内試験規格・基準委員会では、「地盤材料試験の方法と解説」の改訂作業において、JIS 規格の見直しを行いました。単位（基本、cm は使わない）、有効数字および試験回数に記載、用語の整合を主な修正点として、「地盤工学会誌」平成 30 年 1 月号で新旧対照表を公示し（公示期間 平成 30 年 3 月末日まで）、会員の皆様から意見を募りました。いただいたご意見を、JIS 規格案を作成した WG で検討しました上で、その結果は「室内試験規格・基準委員会」、「基準部会」ならびに「理事会」で審議・承認されました。ここに、その結果をご報告致します。

この JIS 規格案は今後、JIS 原案作成分科会、同委員会でさらに検討を行い、主務大臣である国土交通大臣の付議により日本工業標準調査会（事務局：経済産業省産業技術局基準認証ユニット）において JIS 改正案が審議され、最終的に改正・官報公示される予定である。

ご意見をいただいた会員の方々にお礼を申し上げますとともに、今後ともよろしくお願ひ致します。

2. JIS 規格案に対する会員からの意見への検討結果

2.1 土の段階載荷による圧密試験方法（JIS A 1217）、土の定ひずみ速度載荷による圧密試験方法（JIS A 1227）

表-1 「土の段階載荷による圧密試験方法」、「土の定ひずみ速度載荷による圧密試験方法」に対する会員からの意見への検討結果

No.		意見内容	意見への対応
1	7 計算 圧密係数	圧密係数 c_v について、改正前の単位 cm^2/d では概ね 10～1000 程度の範囲となり、分かり易い数値ですが、単位を cm^2/d から m^2/s に改正することで、あまりにも小さな数値（ 10^9 オーダー程度）となり、実用上の観点からは分かり難いものとなります。また、 c_v を用いた圧密時間算定の際にも余分な換算も必要になります。再考いただければ幸いです。	原案通りとします。 ご意見の趣旨は理解していますが、一方で、SI 基本単位系に統一することへの強い要請があるため。